

羽曳野の古墳発掘 5 鉢伏山西峰古墳

第5回目は駒ヶ谷にある鉢伏山西峰古墳を紹介し
ます。鉢伏山西峰古墳は、鉢
伏山(標高211.5m)より西
に大きく張り出した尾根上、
標高135mに単独で位置し
ています。昭和44年に故三
木精一氏によって発見され
ました。周辺には飛鳥千塚
古墳群をはじめ大谷古墳群、
五十村古墳群、菅田山古墳
群などの横穴式石室を内部
主体にもつ後期古墳群や鉢
伏山南峰古墳、観音塚古墳、
オウコ8号墳など横口
式石槨をもつ終末期古墳が分布しています。



の板状を呈した珍しいも
のも発見されました。こ
れら出土した遺物から7
世紀中ごろに古墳が築造
されたことがわかりまし
た。

横口式石槨は、韓半島、
三国時代の高句麗、百濟
地域の強い影響を受けた
と考えられています。前
回、飛鳥地域には百濟か
らの渡来系氏族が住んで
いたというお話をしま

したが、このことから渡来人と密接に関係したお墓であると言えます。

現在全国でも90基しか類例のないこの希少な埋葬施設は、その約75%が南河内・大和地域に集中しています。そのような貴重な古墳が羽曳野市内には13基も存在していますが、見学できるものはごくわずかで、今回紹介した鉢伏山西峰古墳は、数少ない見学できる古墳として、はびきの中央霊園内に整備・保存されています。

(社会教育課)

市制50周年

羽曳野市暮らしの便利帳

今月15日に市制50周年を迎えるにあたり、記念事業として羽曳野市「暮らしの便利帳」が完成しました。今月より順次皆様のお宅に配布していきます。この暮らしの便利帳は、市と株式会社サイネックスとの官民協働事業により作成したもので、175ページの中には住民登録などの各種手続きや窓口案内、防災・救急や福祉制度の紹介、医療・福祉施設等の地域情報のほか、企業・事業所などの広告が掲載されています。皆様の暮らしの中でぜひご活用ください。

また、ご協力いただいた企業、商店等の事業主の皆様、本当にありがとうございました。

問い合わせ先 市長公室秘書課 (内) 3330,3340

